

リビエラライフのためのマガジン

RIVIERA

MAGAZINE

Summer 2020

No.11



SPECIAL ISSUE

4 リビエラグループのフラッグシップ シナーラ修復完了まであとわずか、 再び海へ

FEATURES

10 RIVIERA INTERVIEW VOL.10

Royal Yacht Squadron
Former Rear Commodore Yachting

David Aisher

REGULARS

2 Withコロナと シナーラの進水と

株式会社リビエラホールディングス
代表取締役会長兼社長 渡邊 昇

12 RIVIERA ZUSHI MARINA PROJECT

美味しいリビエラ豆子マリーナ

16 白雲閣メモリーズ③

財界人が語る 料亭「白雲閣」創業者との思い出

アサヒビール元専務 藤田 博さん

18 RESORT CLUB LIFE

海のグランピング リビエラシーボニアマリーナ

海の上で過ごす、日本で唯一のヨットグランピング

20 リビエラで集う

リビエラ豆子マリーナ

窓を開け、心地良い潮風と 開放感あふれる空間で安心・快適に

TOPICS

21 Pick Up

22 YACHT RACE & EVENT



発行
株式会社リビエラホールディングス
編集・制作
リビエラマガジン編集部

〒107-0062
東京都港区南青山3-3-3
リビエラ南青山ビル
TEL. 03-5474-8120 (代表)
www.riviera.co.jp

広告のお問合わせ先
リビエラマガジン編集部
TEL. 03-5474-8120 (代表)

CHIEF EDITOR
渡邊 華子

EDITOR
依田 大樹
河西 千春

PHOTOGRAPHER
矢部 洋一 (表紙、P4、5、6、7、8、9)
宮本 卓 (P23)

WRITER
矢部 洋一 (P4、5、6、7、8、9)
丸山 けんおう (P2、10、11、16)
飯島 圭子 (P12、13、14、15、
18、19、20)

※本誌に掲載している情報、日程、営業日、営業時間、料金などは予告なく変更される場合がございます。最新情報は各ページに記載されています。webサイトをご覧ください。

With コロナと シナーラの進水と

株式会社リビエラホールディングス
代表取締役会長兼社長 渡邊 昇



未曾有の災厄に 思うこと

この度の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡がりは、まさに未曾有の災厄。全世界では累計約800万人が感染し、45万人近くの方がお亡くなりになっていきます(6月中旬時点)。罹患された方をはじめ、直接間接に影響を受けた方すべての皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます。

私もリビエラグループでも、4月7日の政府による緊急事態宣言を受けて、営業各施設を閉鎖しました。事務方でもテレワークによる在宅勤務を導入。この間、お客様にはご不便をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。中でも、人生最良の日の舞台にリビエラをお選び

に添えなかった事例があったことは、私どもとしても悔しい限りです。おかげさまで、リビエラグループの施設・スタッフ・関係者からは発症事例もなく、5月25日の宣言解除により、3密の回避に細心の注意を払いながら、徐々に営業を再開しております。

しかしながら、いまだに事態終息の気配は見えません、それどころか、多くの専門家や研究機関が、第2波・第3波の感染再拡大に警鐘を鳴らしています。米国ハーバード大学の研究チームが発表した論文によると「COVID-19の世界的流行を抑えるためには、外出規制などの措置を2022年まで継続的に続ける必要がある」(米科学誌サイエンス・4月14日付)とのこと。

た今、私たちに求められているのは、普段の生活を取り戻す努力と並び、「コロナ後」の新しい生活様式を工夫することでしょう。リビエラグループでも、「Withコロナ」の世界における創意を取り入れた事業提案をさせていただき所存です。衛生管理に一層留意し、安全・安心で快適な環境を提供するため、最大限の対策に努めていきたいと思っています。

歴史的帆船 再び海へ

コロナ禍により、この夏開催予定だった東京2020オリンピック・パラリンピックも延期となってしまいました。同大会セーリング競技が行われるはずだったリビエラ豆子マリーナの沖合も、初夏の陽差しに美しく煌めきながら、今は静かです。神奈川県内の海水浴場は今夏すべて開設されないこととなり、マリンスポーツ関係も自粛ムードの中にありますが、リビエラ豆子マリーナ、リビエラシーボニアマリーナと葉山港は、営業しております。梅雨明けの相模湾は、格別の美しさ。ぜひお運

んできた、歴史的木造船「シナーラ」のレストア(修復)プロジェクトが最終局面にかり、5月30日、ついに初のテストセーリングを果たしました。前世紀初頭の英国で建造され船齢90年を超えたこのヴィンテージヨットを、海から上架したのが2017年1月。以来、世界10ヶ国から招聘した50人を超える専門家と、伝承技術の習得に志ある日本の職人たちの国際協力チームが、3年5ヶ月に及ぶレストア作業を続けてきました。コロナの中でも、衛生管理と作業者の社会的距離の確保に努め、潮風を浴びながら作業を継続。無事に陸上での工程を完了しました。

これからは、海上での試運転と細部調整、操船クルーの習熟訓練。そして、(1年延びたとはいうものの)東京五輪2020セーリング競技のフラッグシップとしてお披露目をいたします。

レストアによって、さらに100年の命が吹き込まれたシナーラは、リビエラグループの「フラッグシップ」。五輪セーリング競技会場に最も近い民間マリーナである私どもは、グループの総力あげて同大会を支援し、選手や大会関係者の方々が試合に集中できるよう協力すると共に、この旗艦を縦横に駆って、マリンスポーツの発展に尽くす所存です。

リビエラグループのフラッグシップ シナーラ 修復完了まであとわずか、 再び海へ

写真／文 矢部洋一

「次の100年も、そしてその後も末永く、この歴史ある美しい船が海を駆けていられるように」との思いを込めて進められてきた歴史的な大型木造帆船「シナーラ」の修復(レストア)プロジェクトが、いよいよ最終段階に入りました。5月末には、修復後初の帆走テストが実施され、見事に甦ったその姿を海上に見せました。シナーラの新たな歴史が始まっています。

2020年5月30日、初めてのテスト帆走を無事終えて、新緑鮮やかな小網代湾に戻ったシナーラ。その美しさに誰もが息をのんだ



シナーラを海に浮かべるため、船体をクレーン船で吊り上げる方法が探られた。難関は作業テントから水際までの陸上移動。特別に組んだ船台に船を載せ、グリースを塗った鉄板上を引きずるようにクレーン車で引いて僅かずつ動かした。チームワークが光る一日だった

**時を超えて甦る
美しい名艇シナーラ**

およそ3年半に及ぶ妥協を排した入念な修復作業の結果がついに姿を現してきました。2015年の初めにスタートした歴史的な大型木造船「シナーラ」のレストア(修復)プロジェクトは、2017年に作業開始し、いよいよ最終段階に入ったのです。

このプロジェクトはいろいろな意味で前代未聞の、困難な要素を並べたならきりのない、まさに大いなる挑戦と言ってよいものでした。

シナーラは英国屈指の評価を誇った造船所、キャンパー&ニコルソンによって建造された俊足の木造ヴィンテージヨットです。王室とつながりのあるヨットマンが注文し、最高の材料と最高の造船技術者、船大工たちによって造られた由緒ある名艇でした。シナーラ(進水当時の船名はGwendlyn)が進水したのは、今から93年前の1927年3月です。当時の英国のちにヨットの黄金期



2020年3月30日、シナーラは再び海に戻った。記念すべき着水の瞬間、スタッフ全員が固唾を飲んで見守った



左：喫水線と平行にきれいに水に浮かんだシナーラを見て笑顔で握手を交わす渡邊会長とレストアチーム・リーダー、ベンジャミン・ホブbs(左)、ポール・ハーベイ(右から2人目) 右：2020年3月24日、リビエラシーボニアマリーナの一面に設けられた修復工事用の作業テントを出るシナーラと、それを見守るレストアチームのメンバーたち。2017年から2020年春までのおよそ3年半、シナーラはここで船体の徹底した修復を受け、元通りの優美な姿を取り戻した



と呼ばれる時代にありました。キャンパー&ニコルソンの工場では、シナーラと並んで大型の豪華ヨットが次々に建造されていたといいます。

英国での進水後、シナーラは長い年月の間に何人もオーナーの手を経ながら、多くの航海を重ね、海を走り大洋を渡っています。当然ながら、年月とともに船には疲弊が重なっていきませんが、木造ですからその進行はなおさらです。この船が日本のオーナーの手に渡り、英国を出港して三浦・三崎港に着いたのは1973年のことでした。

2001年シナーラを受け継いだリビエラグループの渡邊昇会長は、「海の貴婦人シナーラ」を大切に磨き続けました。

「リビエラグループのフラッグシップとして世界に誇れる船に生き返らせる。次の世紀も、さらにその次へも、この船が帆をいっぱい張って海を駆けることができるようにしたい」と、船の本格的なレストアを行うこと、しかもそれを日本で行う

ことを決断し、2015年シナーラのレストアプロジェクトが立ち上がりました。これは、SDGsにもコミットしたサステイナブルな社会を目指す「リビエラ未来創りプロジェクト」の「古き良きモノを大切に磨き上げて次の世代に残す」という理念に基づいたものです。

日本に来て44年、英国での進水から数えて船齢90歳となった2017年は、シナーラにとって特別な年になりました。海からシナーラを上架しリビエラシーボニアマリーナのドックでのレストア作業が本格始動したのです。

大いに名譽とされる木造ヨットの「100歳クラブ」というのがありますが、シナーラも間もなく仲間入りです。

日本で修復を行うためには、まず人材の確保が必要です。欧州や米国で綿々と受け継がれる伝統的な木造船の造船技術を持ち、とりわけ古い木造ヨットの修復に経験の深い、一流の造船職人(船大工)が英国、イ



5月30日、初めてのテストセーリング。メインセール、ミズンセール、ステイスル、ジブの4枚が展開された photo / Mattis Voss

タリア、スペインなど世界10か国から集められました。しかし必要なのはもちろんそれだけではありません。

国際協力が伝えた 熟練の技術

大型の木造ヨットの造りはとても複雑で、多彩な専門分野の職人や技術者たちを裾野に持って成り立っています。たとえば、板と板をつなぎ留める釘ひとつにしても、シナーラに使われているのは、ネイバルプラスと呼ばれる特殊な真鍮でできた手作りの船釘で、日本では手に入りません。木製のマスト、セール、鉄製の補強部材、ロープ、木製の滑車など、ざっと挙げるだけでも20を超える専門の製造・供給業者が必要で、ほとんどは欧州か米国の会社です。しかも船が大きいだけに、部品も大きく重い。情報と物のやり取りにも大変な労力と費用、時間がかかります。しかしその一方では、国際的な協力をサポートプロジェクトにもなりました。さらに、日本で行うことによつ

て、日本人職人たちも大型木造ヨットのレストア作業という全く未知の仕事に直接関わることを通じて、当初の目的とした「日本への技術伝承」も果たせています。

欧米の熟練職人+日本人職人で構成されたレストアチームは、渡邊会長の思いを受けて、それを実現すべく、難しい作業と生活スタイルや言葉の壁を乗り越え、リビエラファミリーとして一丸となり汗を流してきました。

そして今年3月、シナーラは水に浮かべられ、5月には帆を揚げて初めてのテストセーリングに出ました。船の出来栄は想定どおりに見事、いやそれ以上です。海に浮かぶその美しさは圧巻でした。

残る作業は、内装の仕上げです。約8割の建造当時の材料を利用した船体同様に、ここでもオリジナルの部材が生かされており、100年前の歴史を感じさせる格調高い雰囲気を作り込まれていくでしょう。完成まで、あとわずかです！



船体の修復を終えて、作業テントを出たシナーラ。歪みの出ている船体はきれいに整えられて、オリジナルの設計通りに美しい曲線を取り戻した



左：レストアプロジェクトの最終段階に入り、内装工事が急ピッチで進められている。写真は応接室となるメインサロン(左舷側)の5月末時点での様子。きっと快適で上質な空間になるだろう 中央：前代未聞の日本での大型クラシックヨット本格修復プロジェクトは、作業に加わった日本の職人と今後の帆船修復にとって貴重な経験を残した 右：シナーラを宝石の原石と見て将来を見据え、不屈の信念でこのレストアプロジェクトをやり遂げた渡邊会長と、レストアチーム



イングランド南部・ワイト島に佇むロイヤル・ヨット・スコードロンのクラブハウス



©Yoichi Yabe



デビッド・エイシャー氏の愛艇「タリア」(1888年建造・船齢133歳)



ロイヤル・ヨット・スコードロンに招かれた際の渡邊とエイシャーさん

海には、若者の人生を 変える力がある

エイシャーさんとリビエラが思いを同じくすること——それは青少年育成活動への取り組みです。

「近年、私は『Tall Ships Youth Trust』という財団を運営して、困難な状況下にある12歳から25歳の青少年の支援に取り組んでいます。この財団のミッションはシンプルかつ効果的。4隻の大型ヨットを用いて、彼らを海に導くことによって、彼らが直面している社会的な障壁を打ち破り、人生の可能性を広げる手助けをします。昨年だけでも950名を超える若者たちを虐待的な環境から救い出しました。

洋上で過ごす時間には、人生を変える力があります。

昨年、私たちのプログラムに参加した若者たちの実に95%以上が、安定した職業に就いたり、教育訓練の機会を得たりしています。私を知る限り、この成果を上回るサポートプログラムは他にありません。

深刻なコロナ禍に悩まされる今日、私たちの活動は、これまで以上に求められることになるでしょう。

ちなみに私たちの慈善活動は完全民営。公的資金には頼らず、人々の善意によってのみ支えられています。活動に貢献するのは自分自身のため。まさにライフワークです」

今やらなければ 失われてしまう

シナーラの修復プロジェクトでは、折に触れて貴重な助言をいただくなど、エイシャーさんにご協力をいただきました。

「シナーラ再進水について、日本のリビエラの皆さんに、心からのお礼を述べたい。シナーラは私にとって思い出入れの深い船です。

私はヨットマンの家系に生まれました。シナーラを日本に回航したマイク・マクミラン艇長とも面識があります。マイクは私の祖父の同僚。祖父もシナーラに乗っていたのです。この縁がなかったら、私がリビエラのこのプロジェクトを知ることができなかったでしょう。

人生には、やり直しが利かないことがあります。今やらなければ、永遠に失われてしまうものもあります。英国を遠く離れた日本で、リビエラの渡邊会長がシナーラの修復に挑ん

RIVIERA INTERVIEW VOL.10

Royal Yacht Squadron
Former Rear Commodore Yachting

David Aisher

ロイヤル・ヨット・スコードロン
元リーアコモドル
デビッド・エイシャーさん

今回のゲストは、歴史的木造帆船「シナーラ」のふるさと英国から!!
最古の歴史を有する名門ヨットクラブ「ロイヤル・ヨット・スコードロン」(RYS)の元リーアコモドル、ヨットレーサーで実業家のデビッド・エイシャーさんです。

ロイヤルの名を冠する ヨット界の最高権威

デビッド・エイシャーさんは、ヨットレーサー界の第一人者。英国貴族の血統を受け継ぐエイシャーさんは、競技者としての輝かしい戦歴ばかりでなく、RYSが主宰し、世界で最も権威があるレガッタレースと評される「カウズ・ウィーク・レガッタ」の総責任者としても知られる重鎮です。

エイシャーさんがリーアコモドルを務めたRYSは民間の愛好家団体ですが、国王ジョージ4世が草創期のメンバーに名を連ねるなど、英国王室とのつながりが深く、格別に「ロイヤル」の名称が付されました。また、「海のF1」と呼ばれ1870年に第1回大会が開催されたアメリカズカップ発祥の地でもあります。南極探検で知られるロバート・スコットのような歴史上の人物も、RYSは多数輩出しています。

「200年を超えるRYSの歴史では海軍との関係も密接で、RYSのクラブ艇は、英国海軍旗を掲げて走ります。現在のコモドルは、女王陛下の夫君であるエディンバラ公爵フィリップ殿下。私も過去2回、カウズ・ウィーク・レガッタレースを「一緒にしました」(エイシャーさん・以下「内同」)

づくされました。このマリナーでは、新鋭のクルーザーやレーサーヨットが数多く整備されている。日本のヨット界は着実に成長しているのだと、私自身のキャリアを振り返っていても、ヨットレースは組織的支援が欠かせません。その点からも、地元でオリンピックゲームが開催されることの意義は、日本のヨット界にとって大きいのではないのでしょうか。五輪競技という最高のイベントに、皆が一丸となって取り組むことは、日本のヨット界をさらに成長させる。私はそれを確信しました。

リビエラをはじめとする日本ヨット界の皆様のご健闘を、心から祈っています」



エイシャーさんから頂いたレター

Profile David Aisher デビッド・エイシャー

1951年、英国貴族の家系に生まれる。レーサーとして著名な祖父の薫陶により幼少期からヨットに親しみ、自身も幾多のレースで勝利。RYSをはじめとする数々の名門クラブの幹部会員として、欧州・北米のヨット界を長年牽引してきたリーダーのひとり。

シナーラ修復の壮挙に

世界も注目しています。

Ristorante AO ZUSHI MARINA

当初宿泊ゲスト様限定でご提供をスタートしていた、優秀公邸料理長の伊藤が提供する料亭仕込みの日本料理もご堪能いただけるようになりました。

また、「マリブホテル」開業に伴い、ミネラル豊富なクレイを用いたプロダクトを展開するスパブランド「クレイド」とのコラボが実現し、お部屋でスパを体験いただいた後、その効果を昇華させるメニューも登場。自然豊かな逗子の地で花開いた独創的かつ、芸術性にも富んだリビエラの新しい味にぜひご期待ください。

「リストランテAO 逗子マリーナ」が、料理のコンセプトを「旬を味わうイタリアン」に一新。色彩感覚に長けた小川圭祐メインシェフによるモダンイタリアンは、これまでの季節ごとのコースから「月替わり」のご提案に。その時期にしかお目にかかれない旬の食材をベストな調理法で仕上げ、食べて美しく、見て美しい華やかなひと皿を追求し、様々な味を少しずつお楽しみいただけます。

心躍る料理を生み出す
若き新進気鋭のシェフ小川



美味しい リビエラ逗子マリーナ

リビエラ逗子マリーナの食がより豊かに、楽しみが広がりました。食べ進めるごとに新しい驚きと発見に出会う喜びを、体験してみてください。

新しくなった
シグネチャーレストラン



有名スパとの
コラボ

モデルに人気の「クレイド」とコラボして日本初となる食事とスパが融合したプランを考案。内側からも外側からもきれいな身体作りをサポートします。



地産地消の
イタリアン

ビジュアルの美しさに定評のあったリストランテAOのメインシェフ・小川圭祐の料理は、新コースになってより華やかさが増えています。



料亭仕込みの
日本料理コース

外務大臣より「優秀公邸料理長」の認定を受け、世界の要人をもてなしてきたリビエラ逗子マリーナ料理長の伊藤康裕による味わいをご賞味ください。

Ron Herman cafe ZUSHI MARINA

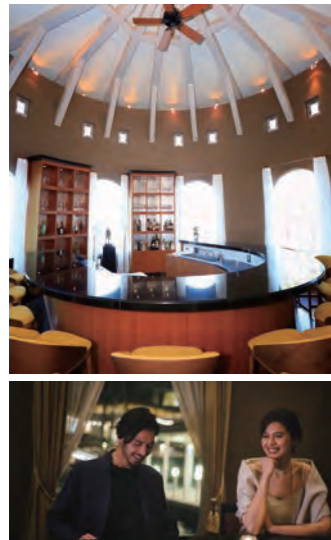
ハーバー越しに
海を望む絶景カフェ

アメリカ西海岸発のスペシャリティストアとして世界的な人気を集める「ロンハーマン」がプロデュースするカフェ。天井が高く、一面ガラス張りになった店内はリラックスできる空間です。夕暮れ時からはソファを設えたテラス席のご利用が人気です。



CAPTAIN'S BAR

マリーナを眺めながら
粋な大人の時間



ドーム型天井が印象的なバーは、セーラーのための隠れ家。海を愛する大人が、セーリング後の語りを楽しむ光景はここならではのもの。バーテンダーが作るカクテルはオリジナルも可能。英国海軍発祥のギムレット、友情の花言葉があるミモザをイメージしたシチリア風ミモザはこの時期おすすめです。

各店舗 ご予約・お問い合わせ

レストラン AO 逗子マリーナ
TEL.0467-25-0480
11:30~21:00
<https://www.riviera.co.jp/restaurant/zushi/>

ロンハーマン カフェ 逗子マリーナ店
TEL.0467-23-2153
11:00~19:00
https://www.riviera.co.jp/zushi/rh_cafe.html

マリブファーム 逗子マリーナ
TEL.0467-23-0087
11:00~22:00
<https://www.riviera.co.jp/malibufarm/>

CAPTAIN'S BAR
TEL.0467-25-0480
16:30~20:00
<https://www.riviera.co.jp/restaurant/zushi/>

※新型コロナウイルスの感染拡大を受け、掲載する店舗や施設において休業や営業時間の変更を実施する場合がございます。詳しくは、各店舗へお問い合わせください。



リビエラ逗子マリーナでの休日は
格別の景色もごちそうに

海沿いに現れた
多彩な食文化の街

海を眺めながらのヨガ、波音がBGMのスパ、クルージングなど、マリーナリゾートの過ごし方はさまざま。例えば大切な方と尽きることはない会話を存分に楽しむなら、特等席でのんびりと体に優しい食事を味わってみるのはいかがでしょうか。海を近くに感じながら有意義な休日を満喫できるカフェやレストラン、海を愛する大人のバーが揃っています。

MALIBU FARM ZUSHI MARINA

日本初上陸の
オールデイダイニング

「マリブファーム」は、L.A.発セレブ御用達のオーガニックレストラン。「FRESH,ORGANIC,LOCAL」のコンセプトはそのままに、現地で人気のメニューのほか、試行錯誤を重ねて完成した地元湘南の食材を使った日本限定メニューもご用意しております。

オンラインショップがオープンしました



食べ応えのある「アンガスビーフの鉄板スタイル」や名物メニューの「ブラータチーズとフレッシュフルーツのサラダ」をシェアしながらゆっくりと。水盤にやわらかな灯りが映し出されるディナータイムは、ウォーターテラス席やファイヤーテラス席で食事やお酒をお楽しみいただくことも。

料亭『白雲閣』から おかげさまで 70周年



1950年の料亭「白雲閣」開業から、
2020年1月にリビエラ東京は70周年を迎えました。

長い歴史のなかで、集いの場として
幾多の幸福な瞬間を見守り続けてきました。

人と人が出会うことで点が線となる。それが全ての始まりです。

家族の絆、仲間との縁。

私たちは時代を超えて、世代を超えて、様々な点を結ぶお手伝いをします。

これまでも、これからも。

結の気持ちを込めて。



アサヒビール元専務 藤田 博さん



リビエラ東京 開業70周年記念

白雲閣メモリーズ③

財界人が語る 料亭「白雲閣」創業者との思い出

Interviewee

アサヒビール元専務 藤田 博さん

東京の人々がアサヒビールを
知らなかった頃

食を通じたおもてなしで、集う人々の心をつなぐ。それは70周年を迎えたりビエラ東京の前身「白雲閣」の昔から続く当社事業の「本質」。飲食業であればこそ、食品業界の皆様に支えられて今日があります。

アサヒビール元専務(現社友)の藤田博さんは、創業者・堀江浅蔵の時代を知る取引先担当者のひとり。

「堀江社長は豪放磊落な古武士のな感じで、大変決断の早い、人の心を掴む優しい方と思いました」

大阪吹田で生まれた朝日麦酒は戦後の財閥解体により関東にも進出することになり、藤田さんが入社された昭和40(1965)年頃は、東京の飲食業界でアサヒビールを扱うお店は、多くなかったそうです。

「池袋周辺のお得意先は、中華料理店と酒販店が1軒ずつ。これでは坪が明かないと、この界限でいちばん大きくて、格式の高いお店——白雲閣——に飛び込んだわけです。当たって砕けるという気持ちで訪ねたのですが、堀江社長は気さくに会ってくださいましたばかりか商談に乗って頂き以来、当社の大きなお得意先となりました。以後永年に渡り信頼関係を続けております。足を棒にして営業回りの甲斐もなく門前払いが続く。白雲閣に向かうと、決まって「なんだ、また断られたか、仕方ない。くさるなよ」と

励ましてくださった堀江社長は、面倒見が良く弱い者の味方でした。他の地域も担当していましたが、池袋に行くのが楽しみでした。勢いのある白雲閣は当社にとって超大型消費母体であったし、堀江社長にお会い出来るから。社長のご意見を聞くことが楽しみでしたし、今でも深く尊敬いたしております」

人間味と心意気のお付き合いは今も

その頃の白雲閣には下足番がいって、お客様をまずは大浴場に案内しました。滝を愛でつつ、ゆったり湯を楽しんでから宴に臨むという小粋なスタイルです。

「夏の盛りにお訪ねすると、風呂に入っていけとおっしゃる。仕事中心からと遠慮をされると、そんな汗まみれで次の営業先に行けないぞとタオルを渡されたことを思い出します。汗といえば、湯河原の開発事業の折には、大汗をかきながら陣頭指揮をとられた堀江社長のもとへ、保冷車で陣中見舞いを届けたことがありました。さすがビール会社だと破顔一笑……人間味が溢れた方でしたね」
時が下って東日本大震災の際、休業や計画出荷が相次いだ中、リビエラへの納品を欠かさず続けてくださったのがアサヒビール社でした。堀江が世を去り、藤田さんが第一線を退かれた後も、心意気に満ちたお取引をいただいています。多謝！



海のグランピング

リビエラシーボニアマリーナ
海の上で過ごす、日本で唯一のヨットグランピング

ザ・リビエラリゾートクラブから究極のオーダーメイド・グランピングを提案。
贅沢な休日の過ごし方・楽しみ方をご紹介します。



気持ちの良い潮風に包まれて、シャンパン片手にウエルカムタイム。デッキやフロントネットなどお気に入りの場所を見つけてゆったりと過ごされました。



6



5



7

5 穏やかな海ならではの kayak 遊びや釣りなどのアクティビティに興じることも。
6 ヨット先端の小さなチェアに座って、波の音を BGM に楽しむ読書は格別。7&8 海に浮かぶ富士山を一望する美しい夕暮れ時。ヨットグランピングの締めくくりはマリーナのプールサイドで火を囲みながら尽きない会話に明け暮れました。



8

取材・写真協力

家庭画報 (世界文化社刊)

2020年6月号「家庭画報」の注目のグランピング特集にリビエラシーボニアマリーナのヨットグランピングが紹介されました。ぜひお手にとってお楽しみください。



家庭画報
毎月1日発行
定価: 1,400円(税別)

体験会のお誘い

ザ・リビエラリゾートクラブ
TEL.0467-23-2458
神奈川県逗子市小坪5-23-9
お電話で「リビエラマガジンを見た」とお伝えください。

家族の絆を深めた 笑顔と会話に満ちた一日

日本唯一のヨットグランピングを体験しに「リビエラシーボニアマリーナ」を訪れた田邊麻里子さんご一家は、大のヨット愛好家。以前はシーボニアマリーナにヨットを置いていたことも。この日は、長女の茂絵美さん、長男の陽太郎ご夫妻、そして愛犬パフと一緒に「三浦半島の味を体験する」というプランを計画！大型カタマランヨットを貸し切りにして洋上へと出港しました。

ヨット後方に設けられたテラスのような空間でウエルカムドリンクを楽しんだ後は、船内キッチンを使ってシェフが仕上げる出来立ての料理に舌鼓。「ヨットはレースに参加するほどに好きですが、こんなにゆったりとした楽しみ方は初めてです」と麻里子さん。食後も潮風をあびながら読書にふけったり、時間を忘れてアクティビティに没頭したりと、思い思いの時間をお過ごしいただきました。



3



4



2



1

1 お食事はご家族でシェアしながらお楽しみいただくスタイルで提供。相模湾で水揚げされたふりふりの伊勢海老の美味しさにこの笑顔！ 2&3 プイヤベースなど、マリーナのレストランで人気のあるメニューをアレンジ。船内キッチンでシェフ自らが料理の仕上げをすることも。
4 船内リビングでの食後のコーヒータイムも楽しみの一つ。



マリブホテル

3密回避「おこもりプラン」登場

ホテルに籠って、ゆったり過ごしたい方に快適なプランが登場しました。チェックインからチェックアウトまで全てお部屋でご対応、夕食や朝食もルームサービスでお届けします。客室から富士山を眺めながら、週末や夏休みにも心から安心してご滞在ください。

【期間】～9/30(水)
 【時間】チェックイン/15:00～18:00
 チェックアウト/11:00まで

ご予約・お問い合わせ
 マリブホテル
 TEL.0467-23-0077



マリブファーム 逗子マリーナ

営業再開のお知らせ

衛生面や換気を最大限配慮し、感染防止に努め、営業を再開いたしました。穏やかな陽光が差し込む明るい店内や開放感あふれるテラス席で、厳選した素材の美味しさが際立つ、身体に優しいお料理をお楽しみください。

【日 程】6/3(水)～
 【LUNCH】11:00～15:00(14:30 L.O.) 3,500円～
 【DINNER】17:00～21:00(20:00 L.O.) 8,000円～
 【B A F】16:30～22:00(21:00 L.O.) 800円～
 【C A F E】15:00～16:30 800円～
 【定休日】火曜日

ご予約・お問い合わせ
 マリブファーム 逗子マリーナ
 TEL.0467-23-0087



リストランテAO 逗子マリーナ

世界のビールを味わう
 「BEER FES ～ビアフェス」開催

海を間近に感じ、富士山や江ノ島を眺めながら、世界のビールをお楽しみいただけます。開放的なテラス席で、人気のサンセットタイムに合わせてのスタートです。ワンドリンクからのご利用も可能ですので、どうぞお気軽にお越しください。

【期間】7/1(水)～8/31(月)
 【時間】16:30～
 (ディナー営業時間内
 16:30～21:00(19:00 L.O.))

ご予約・お問い合わせ
 リストランテAO 逗子マリーナ
 TEL.0467-25-0480

【金額】ソフトドリンク/650円(税-サービス料10%別)
 アルコール/800円(税-サービス料10%別)



リビエラ逗子マリーナ

SHONAN JAZZ BY THE SEA LIVE

湘南ビーチFMとリビエラがお贈りするJAZZイベントを開催いたします。

9/5(土) 木住野佳子トリオ
 MUSIC CHARGE 5,500円
 (7/6(月)10:00発売開始)

12/5(土) タイムファイブ
 MUSIC CHARGE 6,500円
 (11/9(月)10:00発売開始)

10月 Coming Soon

11/7(土) 大西順子トリオ
 MUSIC CHARGE 6,000円
 (10/5(月)10:00発売開始)

1/9(土) Gentle Forest5 &
 Gentle Forest Sinsters
 MUSIC CHARGE 5,500円
 (12/7(月)10:00発売開始)

【時間】フードコート/17:00
 開場/17:15 開演/18:00
 【会場】ブルーピスタ

ご予約・お問い合わせ
 湘南ビーチFM
 TEL.046-870-3313



1 絶景を背景にサロンコンサートを開催することも
 2 刻一刻と表情を変える景色も楽しい 3 密閉空間を回避した逗子を会場に



リアルな繋がり・体験を安心して提供できる会場だからできる
 WithコロナにふさわしいMICE、ファミリーイベントのかたち

海外旅行や国内でも飛行機などの交通機関を利用した遠方への移動が難しい今、1時間程度の近距離で安全に安心して過ごす考え方が主流になりつつあります。そんなニューノーマル(新しい日常)のビジネスミーティングやファミリーイベントをリビエラ逗子マリーナで検討してみませんか。

海外リゾート気分を味わう
 会場の場所選びがキーワードに

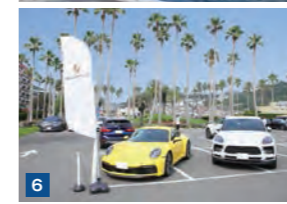
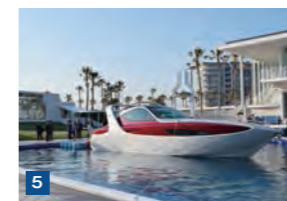
オンラインミーティングなどデジタル化がどんどん進んでいくと、時にリアルなつながりの方が貴重で、今まで以上に有意義な時間へと導いてくれます。例えば、大切なお客様をご招待するサンクスイベントや、新商品をいち早く常連客にご紹介するお披露目会や、展示会など。これらは顧客満足度を向上させる好例です。また、インセンティブの会や、いつもと異なる場所での新しいアイデアを議論するオフサイトミーティングなども、とても好評いただいています。

よりインパクトある交流の場には場所の選定も重要なポイントに。都心から車で50分、横浜から25分の近距離で海外リゾートを彷彿とするリビエラ逗子マリーナでは、大自然の贈り物を最大限に活かしたコンテンツを創出することが可能です。

ビジネスシーンでの集まりだけでなく、人生の節目節目を祝う、大切なシーンでの集いなどにもご利用いただけます。ご家族でのお食事会から、1棟を貸し切りにしての立食形式での盛大なパーティまで、さまざまなお祝いのスタイルに対応いたします。



5 会場をお探しの方、リビエラ逗子マリーナ(イベントデスク)にご用命ください。
 リビエラ逗子マリーナ
 TEL.0467-23-0028
 神奈川県逗子市小坪5-23-16
 お電話で「リビエラマガジンを見た」とお伝えください。



4 既存のお客様に新商品をお披露目のパーティでは、商品を紹介するブースを設置。隣の会場ではサンセットを臨みながらフルコースをお召し上がりいただきました 5 会場併設のプールを使った展示や演出も可能 6 広い駐車場を使った展示や試乗会なども行えます



より豊かな人生をデザインする倶楽部が
リビエラからはじまります



リビエラは、あなたが思い描くライフスタイルと一緒にデザインしていきます。
大自然と共に心豊かに生きる……新しい海に漕ぎ出しましょう。

日々の暮らしを愉しみ、生きるよろこびをこころ豊かに感じる
様々な会員限定のコンテンツを用意



WORK SHOP



ENDING PLAN



EVENT & CONCERT



STUDY



リビエラでは、“新たな旅立ち”を海洋葬として送り出すプランをご用意しました。
故人が歩んできた足跡や思い出を、親族や気の置けない仲間たちが集い、偲んで語り合うひととき。心を尽くした料理とおもてなしで、かえがえのない時をお過ごしください。

入会のご案内・お問合わせ

リビエラ ライフデザイン倶楽部

info-lifeclub@riviera.co.jp

<https://www.riviera.co.jp/lifeclub/>

Withコロナの今 若大将から皆さんへのメッセージ

海を愛し、船を愛し、永遠に湘南の若大将の加山さんから、リビエラのメンバーの皆さんにメッセージをいただきました。



皆さん、お元気ですか？加山雄三です。
去年は少し体調を崩しましたが、今はすっかり回復し、後遺症も何もなく毎日元気に過ごしております。

私が元気になる一方、世界では大変な状況になってしまいました。

新型コロナウイルスが蔓延し、今もなお多くの方が感染、そして亡くられています。早く終息することを祈るばかりです。

多くの店舗や遊興施設、スポーツ観戦や音楽芸能活動も自粛せざるを得ない状況です。

その中でも、日本のエンターテインメント業界も自粛を迫られ、大小様々な興行、ライブハウスなどのスペース運営、それらに携わるすべてのスタッフが仕事を失っています。

このような状況の中で、これまで多くの関係者の皆様やファンの方々に支えられ活動してきた私ですが、若いアーティストや音楽芸能関係の皆様に「コロナに負けないで、みんな元気に頑張ろう！」という気持ちを届けたいと思っています。

近々、その思いを行動に移します！
海と船が大好きで、そこにはロマンがあり、自分自身を成長させてもらったところ、そんな思い出の場所で若者達と共に支援の輪を広げたいと思います。

リビエラのメンバーの皆様にも是非協力していただけたら幸いです。

加山雄三

Trans-Sagami Yacht Race 2020 8月23日(日)に開催！



Trans-Sagami Yacht Race 2020 は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、今年は形を変えて、8月23日(日)にTrans-Sagami Yacht Raceのみ開催することにいたしました。

下田での静岡県知事杯石廊崎レース、表彰式&前夜祭、都内での表彰式は開催いたしません。関係ガイドラインに沿った形での開催をして参りますので、公示および関係書類は後日下記のサイトで公開いたします。

Trans-Sagami Yacht Race 2020

オフィシャルホームページ

<https://www.riviera.co.jp/marina/event/transsagami/>

B&O

創造をかきたてる存在



BEOVISION HARMONY

究極のシネマ体験を。

bang-olufsen.com

Bang & Olufsen銀座
Bang & Olufsen日本橋
Bang & Olufsenニューオータニ博多
Bang & Olufsen梅田
Bang & Olufsen秋葉原
Bang & Olufsen伊勢丹新宿
Bang & Olufsen西武渋谷
Bang & Olufsen栄

東京都中央区銀座6-7-18 03-6263-8957
東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋S.C. 新館5F 03-6281-9435
福岡県福岡市中央区渡辺通1-1-2 ホテルニューオータニ博多1F 092-735-1285
大阪府大阪市北区角田町8-7 阪急うめだ本店10階「うめだスーク」北街区 06-6313-0790
東京都千代田区神田花岡町1-1 ヨドバシカメラ マルチメディアAkiba4F 03-5209-1010 (代表)
東京都新宿区新宿3-14-1 本館5F 03-3352-1111 (代表)
東京都渋谷区宇田川町21-1 B館7F 03-3462-0111 (代表)
愛知県名古屋市中区栄5-27-14 朝日生命保険相互会社名古屋ビル1F 052-228-7746

BANG & OLUFSEN

RIVIERA MAGAZINE

Summer
2020
No.11

リビエラマガジン

発行=株式会社リビエラホールディングス
編集・制作=リビエラマガジン編集部

2020年7月発行(年4回)
〒107-0062 東京都港区南青山3-3-3

リビエラ南青山ビル TEL.03-5474-8120(代表)

www.riviera.co.jp

